

開発課題 2-2 (小目標) 水・環境	【現状と課題】 モロッコにおいては、経済成長に伴って水資源に対する需要が増加している一方、降雨量の変動幅が大きいため、限られた水資源の有効利用が不可欠である。さらに、今後の持続的成長のためには、気候変動や経済発展に伴う環境への負荷に配慮した成長を実現することが求められている。		【開発課題への対応方針】 気候変動や経済発展に伴う環境負荷に対応する強靱な社会インフラ整備と体制・管理能力の強化を支援することにより、持続的な成長に寄与する。									
	協力プログラム名	案件名		実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	水・環境 プログラム	地方中核都市の国公立病院に対する医療廃棄物用無煙焼却炉の導入に関する普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度		3	
		PM2.5自動成分分析装置および大気モニタリングシステム導入のための普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業								3,15	
		可搬式バッテリー給油機導入による災害時ライフラインの早期復旧に基づく都市強靱化の案件化調査	案件化調査								9,11	
		水・環境分野に関する課題別研修	課題別研修他								6,11,13,15	
飲料水供給分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償							0.07	6		
開発課題 2-3 (小目標) 基礎教育	【現状と課題】 2000年以降、同国基礎教育セクターでは初等教育の就学率が改善し、ほぼ全ての子供が初等教育へアクセスできる一方で、学習到達度が低いといった教育の質に課題がある。また、前期中等教育においては依然として地域間のアクセスに課題がある。		【開発課題への対応方針】 地方部への基礎教育の拡充や質の改善などへの支援を行っていくことにより、社会・地域格差是正に寄与する。									
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	基礎教育の アクセス ・質向上 プログラム	基礎教育の学習環境改善のための開発政策借款	有償	2023年度以前	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	220.00	4	
		公平な教育振興プロジェクトフェーズ2	技プロ								4	
		教育分野に関する課題別研修	課題別研修他								4	
		教育分野のJICA海外協力隊	JOCV								4	
教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力		草の根無償							0.09	4		

重点分野3 (中目標)	南南協力の促進											
開発課題3-1 (小目標)	【現状と課題】 モロッコは従来からサブサハラ・アフリカ諸国との関係強化を外交上重視しており、南南協力の実施に注力している。日本はこれまでモロッコに対する支援のうち、その成果が顕著である分野を中心として、第三国研修など三角協力を実施しこれに貢献している。サブサハラ・アフリカ諸国の研修ニーズを踏まえて、今後一層需要が増えると考えられる南南協力への支援を充実させていくことが求められている。					【開発課題への対応方針】 モロッコ政府自らが推進している南南協力の促進を、我が国によるこれまでの協力実績をふまえた三角協力の実施を通じて支援することで、モロッコ側実施機関の能力を一層強化するとともに、アフリカ諸国を中心とする国々の経済社会開発に貢献する。						
アフリカ支援	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	アフリカ支援プログラム	アフリカ交通人材育成プロジェクト	技プロ	2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	5.97	9,11	

【凡例】 「協定」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「実線「――」」(=実施期間)、「破線「- - -」」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf